

2025年度 新入生ガイダンス

千葉大学の普遍教育について

普遍教育の全体像と科目区分

Guidance 2025

令和7年度ガイダンス
千葉大学普遍教育[履修案内][時間割][開設科目一覧]
普遍教育科目・共通専門基礎科目



千葉大学 ホーム ページ <https://www.chiba-u.ac.jp/>

千葉大学 シラバス <https://www.chiba-u.ac.jp/academics/course/>

千葉大学 学生ポータル <https://portal.gs.chiba-u.jp/>

千葉大学 Moodle (ムードル) <https://moodle.gs.chiba-u.jp/moodle/>



全学教育センター

普遍教育とは？

- 千葉大学独自の呼び方
- 他大学では「教養教育」「共通教育」「全学教育」と呼ばれる教育に該当

千葉大学 学士課程 2025年度カリキュラム

3ページ

千葉大学 学士課程 カリキュラム

普遍教育科目

国際発展科目群

英語科目
初修外国語科目
国際科目 ※

地域発展科目群

スポーツ・健康科目
地域科目 ※

学術発展科目群

教養コア科目
教養展開科目
数理・データサイエンス科目 ※

専門教育科目

専門基礎科目

共通専門基礎科目
学部専門基礎科目

専門科目

※ 横断科目：普遍教育科目と各学部の専門教育科目のうち指定された科目で構成。
指定された科目を選択して、卒業要件を満たす

普遍教育の目的

- 1 社会人としての普遍的資質を養う
「幅広い視野の醸成」 「批判的精神の涵養」
「豊かな教養に裏打ちされた全人的な人間性の陶冶」
- 2 専門分野の学問的・社会的位置付けを 理解する能力を養う

普遍教育の特徴

- 必修科目と選択科目で構成
- 選択できる科目数の多さと幅広さ
 - 開設科目数：1700科目以上
- 系統的・段階的な履修
 - 国際発展科目群・地域発展科目群・学術発展科目群の3つの大きな区分
- コース・ナンバリング・システム

コース・ナンバリング・システム

- 授業選択のサポート
- 個々の授業に5ケタの記号(コード)
2つの文字と3桁の数字
- 授業の分野・科目区分、難易度を表す

GE 1 0 1



国際教養学部／法政経学部／医学部／薬学部

普遍教育科目								
国際発展科目群			地域発展科目群		学術発展科目群			合計
英語	初修 外国語	国際	スポー ツ・健康	地域	教養コア	教養展開	数理・ データサイ エンス	
6～10	0～4	2	0～1	2	4	5～9	3	26
8～12			2～3		12～16			

文学部／理学部／工学部／情報・データサイエンス学部／園芸学部／看護学部

普遍教育科目								
国際発展科目群			地域発展科目群		学術発展科目群			合計
英語	初修 外国語	国際	スポー ツ・健康	地域	教養コア	教養展開	数理・ データサイ エンス	
6～10	0～4	2	0～2	2	4	5～9	3	26
8～12			2～4		12～16			

教育学部

普遍教育科目								
国際発展科目群			地域発展科目群		学術発展科目群			合計
英語	初修 外国語	国際	スポー ツ・健康	地域	教養コア	教養展開	数理・ データサ イエンス	
6～10	0～4	2	2	2	4	3～7	3	26
8～12			4		10～14			

先進科学プログラム

普遍教育科目								
国際発展科目群			地域発展科目群		学術発展科目群			合計
英語	初修 外国語	国際	スポー ツ・健康	地域	教養コア	教養展開	数理・ デー タサ イエ ンス	
8～12	0～4	2	0～2	2	4	5～9	3	28
10～14			2～4		12～16			

ターム制と学期について

- 大学全体で共通の6ターム制
 - 2025年度は7週間で1つのターム
 - 第1～第3ターム 前期
 - 第4～第6ターム 後期
 - 授業は、「7週間＋1回＝8回」が基本
 - 特定のタームの間に「授業準備期間」が設定されています
 - 授業には
 - 1つのタームで完結する科目 と
 - 2つ以上のタームにまたがる科目 がある
- ※時間割等で確認

授業の実施方法

➤ 授業の実施方法

- 「対面授業」：教室等での授業
- 「メディア授業」：ICTを活用したオンライン授業・遠隔授業

➤ 実施方法による授業の種類

- 「メディア授業科目」：すべての授業回数の半数を超える授業回がメディア授業である授業科目
- 「対面授業科目」：授業回数の半数以上が対面授業である科目（「対面授業科目」でも、7+1によりメディア授業を含む）

※個々の授業の実施方法は、シラバスで確認

授業科目の符号

内容	用いる符号	例
(1) 内容の連続する授業	算用数字	2つのタームにまたがる授業など
(2) 同一名称だが内容が異なる授業	アルファベット	「歴史学」など
(3) 同一名称だが難易度が異なる授業	ローマ数字	語学や共通専門基礎科目など
(4) 同一名称で複数クラスが開講される授業	カッコつき数字	語学や共通専門基礎科目など

英語科目

- 将来国際社会で活躍するのに必要な英語の**基礎的運用能力の向上**を目指す。

目標：政治、経済、文化等に関する常識的な諸問題の国際的情報を英語で収集するだけでなく、**発信**もできる。

- 1・2年次の必修科目＋選択科目
- 海外留学プログラム（海外研修英語・海外研修英語文化）
→異文化理解・コミュニケーション能力向上
- 英語の相談窓口の開設
- TOEFL ITP の受験（4月12日）
- 自分の英語力の把握

32ページ

33ページ

34ページ

初修外国語科目

- 英語以外の外国語とその文化に関する知識を得ることで、多様な価値観と異文化を尊重する姿勢を身につけ、世界を見る新しい視点を獲得する。
- 言語の種類
ドイツ語・フランス語・中国語・朝鮮語
イタリア語・スペイン語・ロシア語
- コースについて
 - 週1回の「〇〇語文化」
 - 週2回の「〇〇語マスター」
 - 展開コース
 - 海外語学研修も

国際科目

- 国際社会での活動や多文化共生社会で求められる国際認識や文化理解など、国際化する社会で生きていくために基礎となる考え方を学ぶことを目的とする科目
- 1年次必修の「国際科目（基礎）」
 - 指定時間に並列開講される4科目のうち1科目を選択履修
- 選択の「国際科目（展開）」
 - 横断科目として、普遍教育・専門教育の指定科目のなかから選択して履修

スポーツ・健康科目

➤ 実技科目

ライフスキルの獲得

（目標設定、意思決定、コミュニケーション、チームビルディングなど）

➤ 講義科目

- ・健康に関するセルフ・ケアの基礎知識
- ・健康の社会的意義など

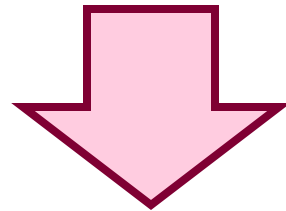
＊教員免許取得希望者は2単位が必要

地域科目

- 社会の一員として地域と関わりながら課題を主体的に設定し解決するマインドを育てる科目
- 1年次必修：「地域科目（基礎）」
 - 指定時間に並列開講される4科目のうち1科目を選択履修
- 選択の「地域科目（展開）」
 - 横断科目として、普遍教育・専門教育の指定科目のなかから選択して履修

教養コア科目

- 複数分野の導入的な知識と学問観の修得
- 「学問」そのものへの興味・関心の喚起



- 生涯を通して豊かな教養を志向する

教養コア科目

- 4つの科目群
論理コア・生命コア
文化コア・環境コア
- 指定時間に並列開講される4科目のうち
1科目を選択
- 各科目群から1科目ずつ
合計 **4科目4単位**

教養展開科目

- 教養コア科目の履修を通して喚起された学問への興味・関心を拡大、深化させて、豊かな教養へと結びつける。
- 教養展開科目は複数の領域別に構成

数理・データサイエンス科目

- 高度情報社会に相應しい教養を身につけることを目的とする科目
- 1年次必修「数理・データサイエンス科目（基礎）」
 - クラス指定「情報リテラシー」（2単位）
 - 「講義」と「実習」で構成

<2025年度からの変更点>

- 選択の「数理・データサイエンス科目（展開）」
 - 理・工・園芸・医・薬は「データサイエンスB」が必修
 - その他の学部は1科目を選択して履修

共通専門基礎科目

- 理・医・薬・工・情デ・園芸・教育（一部）学部のある学生にとって、それぞれの学部・学科・課程の専門教育科目を学ぶための基礎科目
- 数学・統計学、物理学、化学、生物学、地学の5分野
- 講義科目・演習科目・実験科目で構成

自然科学への入門授業

- 高等学校での科目未履修等で、大学の授業に不安がある人を対象。
 - 数学・統計学
 - 物理学
 - 化学
 - 生物学
 - 地学

全学副専攻プログラム

- 普遍教育科目と学部の専門教育科目を横断するプログラム
 - 国際日本学
 - ローカル・イノベーション学
 - 数理・データサイエンス教育プログラム
 - 環境サステナビリティ実践学
 - 日本語学習支援実践プログラム（バンチプログラム）

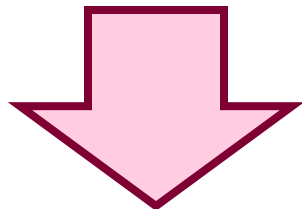


- 要件に応じて指定科目を履修・単位取得
「修了証書」や「オープンバッチ」などを発行
各プログラムのパンフレット等でも確認しよう！

何をどのように履修するか？

- どのように科目を選ぶ？

- ~~– 卒業に必要な単位だけ満たせばいい~~
 - ~~– 楽な科目を得ればいい~~



- 自分自身の興味関心に基づいて選ぶ
- 現在、日本と世界で起こっていることを理解できるようになるために選ぶ
- 自分の未来につながるように選ぶ

普遍教育を通じてできること

外国のことを
知りたい



専門とは違うことを
しっかり学びたい

留学してみたい



グループ活動を通
じて学びたい

最先端の研究成
果をみてみたい



プレゼンテーションや
論文をうまく書けるよ
うになりたい

普遍教育の授業を通じて、
基盤をつくり
きっかけを見つける